

第4回 北九州脳卒中地域連携パス協議会

議事録

日時：2010年6月3日（木） 19:00～19:15

場所：ウェル戸畑 3階「中ホール」

出席者（敬称略）（順不同）

委員長：石束 隆男

副委員長、事務局代表：蜂須賀 研二

事務局幹事：小田 太士

委員

済生会八幡総合病院	脳神経外科	岡本 右滋
戸畑けんわ病院	リハビリテーション科	二見 哲夫
北九州総合病院	脳神経外科	西村 茂
東筑病院	リハビリテーション科	前川 信行
北九州中央病院	リハビリテーション科	奈良 聡一郎
小倉リハビリテーション病院	リハビリテーション科	大野 重雄
牧山中央病院	内科	山根 堅司
産業医科大学病院	ソーシャルワーカー	野田 雅美
戸畑共立病院	脳神経外科	辻 武寿
正和中央病院	リハビリテーション科	浦上 泰成
北九州八幡東病院	理学療法士	山下 太
新小文字病院	脳神経外科	金子 陽一
新生会病院	ソーシャルワーカー	内野 八重

欠席者

小倉記念病院	脳神経外科	村井 望
北九州市立八幡病院	脳神経外科	越智 章
北九州安部公園病院	内科	田中 繁
芳野病院	理学療法士	小西 智晴
戸畑リハビリテーション病院	理学療法士	村田 武治
北九州市立医療センター	脳外科	勝田 俊郎
新小倉病院	脳神経外科	吉開 俊一
九州厚生年金病院	脳神経外科	西村 博行

健和会大手町病院	看護師	鴨崎 治美
九州労災病院	脳血管内科	荒川 修治
	看護師	福田 知佐子
九州労災病院門司メディカルセンター	神経内科	武井 崇展
健和会大手町病院	リハビリテーション科	吉川 公正

東和病院、三萩野病院、新日鐵八幡記念病院については委員未選定

その他、一般出席者	急性期病院	医師	25名	医療従事者	31名
	回復期病院	医師	13名	医療従事者	98名
	一般病院・施設	医師	22名	医療従事者	81名

司会 北九州脳卒中連携パス協議会 委員長 石束 隆男先生

議事内容

1. 連携パス協議会事務局幹事 小田

連携パス利用状況

これまで使用された連携パスの利用状況の報告を行った。連携パス利用は、平成22年1月末、合計39件、5病院であったが、4月末には利用数154件、13病院と増加傾向にある。今後とも引き続き各病院に利用状況の確認を行っていく。

連携パス改訂状況

連携パス導入から1年が経過し、これまでに、記載スペースが小さい、文字が小さい、カルテサイズに合わない、電子カルテに対応したいなど様々な意見を頂いた。それらの意見を元にパス用紙の改訂を予定している。改訂案として、これまでの各期A3サイズから急性期、回復期、慢性期を3分割し、それぞれA4サイズとすることを検討している。また、ホームページ上からExcel ファイルをダウンロードし、選択可能な項目についてはプルダウン方式で記入が簡略化されていることが特徴である。今後、委員の方からの要望や意見を取りまとめ、平成22年8月下旬から9月上旬の導入予定である。

2. 連携パス協議会 副委員長・事務局代表 蜂須賀研二先生

北九州脳卒中地域連携パス協議会は、福岡県より福岡県医療連携体制推進事業として各医師会に委託を受け、北九州地域医療連携運営委員会を医師会内に設けた。この事業の一環として「北九州脳卒中地域連携パス協議会」を設置開催することになった。さらに、北九州市医師会より産業医科大学リハビリテーション医学講座に本事業の委託を受け、北九州脳卒中地域連携パス協議会として発足した。協議会事務局は、産業医大リハ医学講座内に置き、連携パス協議会は北九州リハビリテーション医会の協力のもと開催している。

脳卒中の発症から約10年間の医療経過をみた場合、急性期病院ならびに回復期病院が中心に関わるのは発症から約6ヶ月であり、残りの9年6ヶ月は一般内科医あるいはかかりつけ医が中心となって医療が実践されている。そのため、脳卒中者に対する医療は、一般内科医やかかりつけ医は重要な役割を果たしている。

北九州市内の脳卒中医療連携は、急性期病院13病院、回復期病院18、かかりつけ医約50の医療機関を中心として形成されている。そのなかで産業医大り八医学講座は、各病期に応じたリハビリの医療支援を担っている。急性期は、重度障害リハビリ医療支援として、ロボット訓練などを行い、回復期は、専門的リハビリ医療支援として、嚥下障害の診断治療、装具・義肢、高次脳機能障害の病態、障害診断、治療、経頭蓋電気刺激、痙縮に対するボトックス治療などを実践している。さらに、維持期は、一般的リハビリ医療支援として、障害診断、訓練指導、二次障害対策の指導を行うなどの支援体制を構築している。

現在、産業医大り八医学講座のホームページ上には「かかりつけ医のためのリハビリテーション研修」と題したかかりつけ医を対象にしたe-learningでリハビリに関する情報を学習できる。また、「実地医家に役立つリハビリテーションの知識と技術」（医歯薬出版）、「よくわかる脳卒中介護指導教本（永井書店）などのかかりつけ医研修会を元に出版した書籍の案内を行った。

脳卒中地域連携パスに関して、今春から改訂があり、かかりつけ医は「地域連携診療計画退院時指導料2」の加算が可能となった。退院後1ヶ月までに計画管理病院に対して情報提供を行うことが必要である。

今秋頃、北九州市内のリハ科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー等を対象にした連携パスのNIHSS、Barthel Index、FIM等の障害評価研修会の開催を予定している。

3. 事務局連絡事項

第5回北九州脳卒中地域連携パス協議会の開催予定

11月11日（木）19:00～19:15 ウェル戸畑

今後、各急性期病院（計画管理病院）、回復期病院の連携医療機関を協議会の委員として登録を検討しております。後日改めて文書にて依頼致しますので御協力お願い致します。

また、慢性期医療機関で本協議会の委員登録を御希望される際は事務局まで御連絡下さい。

連携パス使用時にはコピーを北九州医師会へFAXあるいは郵送して下さい。

北九州市小倉北区馬借1-7-1 北九州医師会内 北九州地域連携運営委員会

FAX 093-513-3816

急性期病院、回復期病院ともに、転院あるいは退院時に医師会へ送付して下さい。維持期にかかりつけ医の先生方から記載後、急性期病院あるいは回復期病院に送付して頂いたものに関して可能な限り、医師会に送付して頂きますよう宜しくお願い致します。

その他、連携パスに関するご意見・ご要望は下記に御連絡下さい。

今回のパスの改訂は、平成22年9月上旬の導入を目指しており、改訂に関する御要望や御意見は、誠に勝手ながら6月末に一旦締め切りさせていただきます。多数の御意見をお待ちしております。

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局（産業医科大学リハ医学講座）

担当職員：菊池晶子、担当医：小田太士

Fax: 093-691-3529 E-mail: reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

文責 北九州脳卒中地域医療連携パス協議会 幹事
（産業医科大学リハビリテーション医学講座）

小田 太士